

横浜市立小雀学校 令和3年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
豊かに学び 認め合い 咲かせよう 笑顔と満足の花	〈自分づくりに関する力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子どもたちの夢や希望を育みながら、まちとともに歩む学校づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが学習の楽しさや達成感が味わえる授業づくりを推進し、学力の向上に努めます。 一人ひとりの子どもが安心できる居場所を保障し、自尊感情を高めるとともに、互いの違いを認め、大切にしよう子どもを育てます。 まちの人とのつながりを大切に、豊かな体験を通して、自分の将来の姿や生き方を追求していく姿勢を育てます。 全教職員の協同意識を大切にしながら学校運営や教育課題に取り組む中で、教職員の資質・能力を高めていきます。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・具体的取組

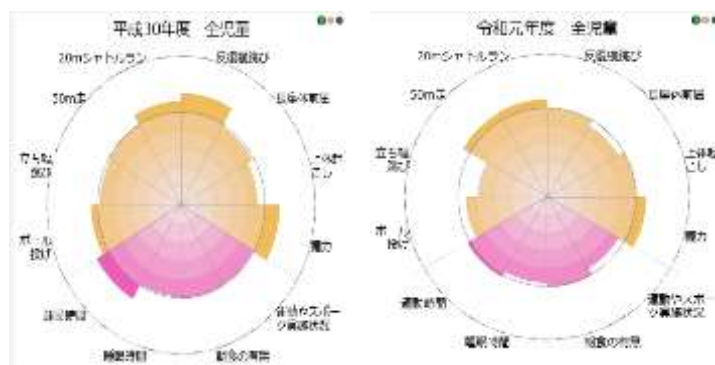
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①小雀体操を通して身体づくりに取り組むとともに、感染症を予防する生活習慣の定着を図る。 ②一校一実践として、短縄跳びに力を入れ、なわとび週間でクラスで協力して運動に取り組む体力の向上を図る。さらに、状況を見て家庭や地域との連携も推進する。 ③交通安全教室、避難訓練を行う中で児童の危機管理意識を育て「自分の命を自分で守る」スキルを向上させる。
担当	健康安全教育推進委員会・体育部

2 体育・健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・体力テスト総合結果より、低学年ほど数値が低い傾向がある。走の運動は比較的高いが、他の項目は低い。
- ・睡眠時間も市の平均と比較し大差ないが、校内では学年が上がるにつれて睡眠時間が短くなる傾向がある。
- ・1日の運動時間は市平均と比較し、少し上回っている。しかし、運動を全くしない児童の割合も市平均よりも高く、運動に親しむ児童とそうでない児童の二極化が見られる。

(2) 体力の概要と要因の分析



ボール投げと立ち幅跳びの数値が著しく低い。「投」の経験や「跳」の経験不足が考えられる。様々な運動に出合わせ、多様な動きに取り組んでいく必要がある。

睡眠時間や朝食摂取率は市平均と変わらなくなってきたが、睡眠時間が短い児童ほど朝食摂取率が低い。

全体的に運動に取り組む時間が減少してきているため、運動に取り組む楽しさを実感させていく必要がある。